

「JR連合ビジョン」の実践と
政策の推進を通じて、
JR産業の持続的発展と
組合員の幸せを実現しよう!

<http://www.jr-rengo.jp>



JR連合

JAPAN RAILWAY TRADE UNIONS CONFEDERATION

日本鉄道労働組合連合会

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町1-8-10 東興ビル9階
TEL (NTT) 03-3270-4590 (JR) 057-7848
FAX (NTT) 03-3270-4429 (JR) 057-7849
1部20円 (但し組合費に含む)

●発行者/荻山市朗 ●編集者/今井孝治



JR産業の持続的発展と働く者の雇用・生活を守るため
「JR連合ビジョン」を実践するJR連合へ総結集しよう



2021年 新春

写真：福島市花見山から望む吾妻連峰

撮影者：相田勝仁さん (JREユニオン仙台地本組合員)



副会長
大杉 正美



副会長
中原 博徳



副会長
大谷 清



副会長
上村 良成



副会長
鎌田 茂



副会長
菅野 一位



副会長
昆 弘美



会 長
荻山 市朗

顧問
松岡 裕次



執行委員
羽野 敦之



執行委員
政所 大祐



執行委員
中村 鉄平



執行委員
北村 公次



執行委員
中山 耕介



執行委員
今井 孝治



事務局長
尾形泰二郎

職員
戸田 真宏
小澤 由枝
福原 美穂



会計監査員
本田 雅明



会計監査員
鈴木 賢二



特別執行委員
慶島 譲治
(交運労協)



特別執行委員
島口 明典
(青年・女性委員会)



特別執行委員
鶴石 貢
(青年・女性委員会)



特別執行委員
白壁 靖子



特別執行委員
八木 大星
(グループ労組連絡会)



2021 新春対談

労働組合の強みと地域との共生

～三日月滋賀県知事～



四半世紀に及ぶ交流がある両者の対談はJRと地域の未来を見据え白熱した

2020年の話題の中心には常に「新型コロナウイルス感染症」があり、政府の対応や自治体首長の言動に注目が集まった。JR連合は、対策本部を設置し加盟単組における丁寧な労使協議を支えるための情報収集と発信に努め、労働組合の存在感を示してきた。また、政党や行政に対して、22万筆以上を集約した署名活動を実施し、11月25日には決起集会も開催して組合員の雇用と生活を守るための要請行動に取り組んできた。これらは国会議員との連携を抜きには語れない取り組みであった。そして、コロナ禍後の社会変化を展望すると、労働組合の強みや特性を活かし、JRと地域との連携や協力による共生が一層重要になると考えられる。

こうした問題意識を踏まえ、2021年初頭にあたり、新春対談として三日月大造滋賀県知事をお迎えした。JR連合・JR西労組で専従役員を経験後、国政に進出した経歴から、労働組合の必要性や政治との関係性を熟知し、持続可能な公共交通の実現に向け実践されている首長である。現下の情勢と今後の展望について語らう貴重な機会とさせて頂いた。

最大の経営危機を 団結して乗り越える

【今井企画部長】本日はよろしくお願ひします。新春対談と言えば本来は新年の抱負を語らうべきですが、やはりコロナ禍を振り返らざるを得ません。萩山会長からお願ひします。

【萩山会長】昨年は新型コロナウイルス感染症への対策が中心の1年でした。今年度はJRグループ全体で3兆円規模の減収が見込まれ、巨額の赤字決算が想定されます。ご利用も本格回復には程遠い状況です。私はJR1期生として入社し33年目になりま

す。数々の難局を経験しましたが、これほどのご利用、収入が蒸発するのは想定外でした。まさに会社存続以降、最大の経営危機です。

持続的な発展のために 政労使のさらなる連携を

【今井】三日月知事は、コロナ禍に際し県民を守る責任者である知事として緊張感のある日々を送られていたことと思います。どのようなことを考え、行動をされていたのでしょうか。

【三日月知事】まずはこの時も、私たち国民に必要な輸送やサービス、まさにエッセンシャルワーカーとして感染リスクと闘いながらも仕事をさせて頂いている方々に、心から感謝を申し上げます。そのおかげで、必要な移動が保障され物流が滞りなく届き、感染症に気を配りながらの観光とか出会いが創られています。私はそのことを常に心に持って仕事をしなければいけないと思っています。

昨年2020年は、歴史に残る1年になると思います。感染症がこれだけ世界を揺さぶり、私たちの考え、生活様式も大きく変わろうとしており、今なお困難の中にあります。私が悩みながらも心掛けていたことは、一つは正直であること。私自身も怖い、どうなるかわからない。だからわかったことは、できるだけ早くデータに基づき正確に自分の言葉でお伝えするので、信頼して欲しい。協力して欲しい。そして、人権への配慮です。感染症は社会を壊します。お互いのことを思いやっって欲しいというメッセージを、できるだけこまめに、繰り返し出すようにしています。また、昨年4月から6月の3か月間で、知事への手紙が過去6年分届きました。すべてにできるだけ目を通して様々な事に役立てたつもりですが、十分ではなかったという反省もあります。そこで、応答性のある対話をしよう、声なき声に耳を傾けよう、と言っ

その中でも、組合員の皆さんには感染の不安を抱えながら、指定公共機関としての責務を果たすために、ガイドラインを遵守し、安全輸送の確保にご精励頂いてきました。心よ

り感謝申し上げます。国を挙げて安心利用を促進して頂きたいと思います。

JR連合は、経営危機を克服するために、国や政治に対し要請活動を精力的に展開してきました。雇用調整助成金の特例延長、公租公課の減免や猶予などを求める緊急署名には、組合員と家族の皆さんのご協力で22万筆を集約し、国土交通大臣や厚生労働大臣などに直接訴えることができました。改めて御礼申し上げます。冬のボーナスでは、各単組が大幅減額を苦渋の決断で受け入れ、

人件費をはじめ徹底した経費削減など自助努力を重ねています。バス・旅行業・ホテル・船舶など一時帰休で何とか雇用を維持しているグループ会社も多くあります。何としても危機を乗り越え、20万人を優に超えるJR産業で働く仲間の雇用と生活を守らなければなりません。まだ闘いの最中です。ダメージがあまりに大きく、各社とも緊急的に多額の資金を調達して財務状況も悪化しており、安定軌道に回復するまで長期戦を覚悟して臨む必要があります。

【萩山】それは改めて、萩山会長は新年にどのような決意で臨みますか。

【今井】まず、安全の確立を最優先に取り組みむ決意に変わりはありません。昨年8月にはJR北海道で20代の保線社員2人が夜間作業後の移動中に交通事故で死亡する痛ましい労災が発生しました。働く仲間として思いを馳せ、改めて、職場からの安全確立に全力を挙げる決意を固めたいと思います。

そして、今年もコロナ対策が課題の中心になることは間違いありません。緊急課題の要望実現を果たすとともに、ウィズコロナ、ポストコロナの社会変化に向き合い、JR産

業の持続的発展につながるための取り組みを積極的に進めます。

今回の要請活動を通じ、強く感じたことがあります。まず、JRは元々同じ国鉄でありながら、経営側の連携が不十分であること。他の産業では業界団体と組合が協力し、政治や行政への要請活動を精力的に展開していますが、JRには各社の意見を代表する団体はありません。JR産業が社会変化に対応して持続的に発展していくためには、各社の取り組みに止まらず、社会の理解と協力を得ながら施策を進めていくことが欠かせません。例えば、時間や時期のピークを避けた分散利用の促進、終電の繰り上げなど

は、JRが一方的に実施できるものではありません。今こそ政労使の連携が重要です。コロナ禍に際し、JR7社が要望を取りまとめるなど連携が深まったこの機会を活かし、JR連合が発信してこうした動きを作っていきたいと思っています。もちろん働く仲間のJR連合への総結集にも取り組まなければなりません。

次に、これだけの経営危機に瀕しても「JRは体力あるから大丈夫」という声が大いこと。しかし固定費の割合が高い経営構造から、減収のダメージはきわめて大きく、コロナ禍で社会が大きく変化する環境下において相当な経営の変革を進めなければJRの持続的成長は描けないと思います。このままでは安全性・サービス・生産性の向上など将来に向けた設備投資や、技術の研究・開発などの体力も失われてしまいます。また、新幹線など黒字部門の利益で地方路線など赤字部門を内部補助して維持する経営モデルは厳しくなっています。国鉄改革を経て、JR各社は経営の自主性と民間活力を發揮し、労使を挙げて鉄道の再生、発展に取り組みできましたが、その理

【今井】知事は交通政策基本法の制定に中心的に関与してきたほか、現在も

【三日月知事】まずコロナ禍における危機感を地方自治体も共有しなければいけません。毎年、

【三日月知事】まずコロナ禍における危機感を地方自治体も共有しなければいけません。毎年、



聞き手：今井企画部長

滋賀県には、5市5町、60キロ33駅にわたって120年続いている近江鉄道があります。この鉄道路線の経営が厳しいとの表明があり、今それをどうすべきか、県知事が会長になって法定協議会を立ち上げて

■三日月 大造 (みかづき たいぞう)

- 1971年生まれ(49歳)
- 1994年4月JR西日本入社、運転士や本社勤務、1999年9月よりJR連合青年・女性委員会議長、同年11月JR西労組青年女性委員長(専従役員)
- 2002年2月JR西日本退職、松下政経塾第23期生として入塾
- 2003年11月衆議院議員に初当選以降4期連続当選、2009年9月に国土交通大臣政務官、2010年6月に国土交通副大臣を歴任
- 2014年7月から滋賀県知事(現在2期目)

JR連合青女議長の2000年当時

コロナ禍後の自治を創る 基盤としての公共交通

近江鉄道の存続の問題などの課題解決に取り組んでおられますが、萩山会長か

議論しています。全線存続をさせることは昨年3月に決めたのですが、その後コロナ禍の影響が多に出でて、当時よりも厳しい経営環境となつていますが、だからといって公共交通がいらぬという議論はなっていない。むしろこういふ状況下で、

公共交通ネットワークや雇用のあり方を考える転機に

【今井】コロナ禍によるダメージを受ける中で、今後もJRが魅力ある産業であり続けるための展望について、国鉄改革から3年以上が経過したことを含めご意見を伺いたいと思います。

【三日月知事】鉄道は、やはり夢を運ぶ産業だと思います。これからの時代もあるべき産業だと思います。ただ、このコロナ禍により環境は厳しくなりまし

どうしていくべきかという建設的な議論をしています。さらに、県で立ち上げられた制審議会では、公共交通を維持・発展させていくための財源と負担のあり方について様々な可能性を探る議論を始めました。有識者に参画して頂き、私もほぼフルタイムで出席しています。1月にも国会が予定されているのですが、そこでは、コロナ禍を経験して自治やコミュニティというものを創り直す際、交通が基盤になるのではないかとこの思想で臨みたいと考えています。社会的共通資本として守っていくことを前提に据えた上で、

【今井】ここまで政策活動や地域との関わりを中心に対談を進めてきましたが、最後に、組織的な観点で、このような時代に求めらる労働組合の役割について話を伺いたいと思います。

【荻山】コロナ禍を通じ、危機にこそ労働組合が重要だと感じました。厳しい局面には労使が危機感を正しく共有することが大切です。上司・部下の職制だけで会社の意思を職場に伝えることは不可能です。給料が下がって不満を持たない者はいません。今後、厳しい施策も避けられないかも知れ

それならば、財源をどうするのか、それをみんなどう負担していくのか、という議論を逃がさず謙虚に進めていきます。つまり、危機感の共有と、今後の公共交通のあり方を考えることが両輪で、その取り組みによって新しい仕組みを作るといふ全国初の試みに挑戦しているところなのです。

【荻山】大都市集中を是正し、地方への分散、とくに定住人口の拡大を進める好機でもありますね。地方の持続的な発展に向けてJRや公共交通は大きな役割を果たすことができると思っています。

【荻山】ここ数年JRでは工務系を中心に若手の離職が増加し、その多くが自治

【今井】JRとできないか今検討させています。そのためのルール作りは必要です。雇用のあり方自体を変え始めるのは難しいです。例えば、土木技術職は、鉄道会社で仕事がない時期は自治体で活躍できるとか、でも、本籍は鉄道会社のまま、というようなお互いにとってWin-Winの関係が築けるのではないのでしょうか。

【三日月】それならば、思い切って上下分離にして、公で施設と車両を持って、そこで技術者が保全管理する。運行はその資格を持った人たちがやるという仕組みも描けるのかもしれない。もしかしら、国鉄改革並の転機かもしれません。

最近「卒近代」ということを考えています。近代から卒業しよう、ということですが、明治以降、東京一極集中が始まり、国と地方の関係が変わりました。官僚機構が発達したけど、民の生活から離れてしまった。鉄道との関係で言えば、日本独特な面もあるのですが、民間の鉄道会社が興り、線路が伸び、発展し、街を創り、任せておけば街が発展する、人を運んでもらえるし物も届く。その後、国鉄になって、非効率・不採算で民営化ということになった。国鉄改革は、い

【今井】三日月知事から同様に労働組合の役割についてお聞きするとともに、拡大を進めていきたいと決意しています。

【今井】三日月知事から同様に労働組合の役割についてお聞きするとともに、拡大を進めていきたいと決意しています。



地域との共生への想いを語る荻山市朗 JR 連合会長

【今井】これにて対談を終えます。ありがとうございました。

でも職場の職制の中でそれが全部できるかと言うとかなかなかできない。やはり労働組合という場が必要なのだと思います。私は結構、文句言いたったのでいろいろ言っている。「そんなこと言うんだつたらお前ちょっと組合に行つて言つて」と。検証と、ある意味では再改革みたいなものは、必要になっていっているように思います。

【今井】三日月知事から同様に労働組合の役割についてお聞きするとともに、拡大を進めていきたいと決意しています。

労働組合の役割と政治との共通点

【今井】ここまで政策活動や地域との関わりを中心に対談を進めてきましたが、最後に、組織的な観点で、このような時代に求めらる労働組合の役割について話を伺いたいと思います。

【荻山】コロナ禍を通じ、危機にこそ労働組合が重要だと感じました。厳しい局面には労使が危機感を正しく共有することが大切です。上司・部下の職制だけで会社の意思を職場に伝えることは不可能です。給料が下がって不満を持たない者はいません。今後、厳しい施策も避けられないかも知れ

【今井】JRとできないか今検討させています。そのためのルール作りは必要です。雇用のあり方自体を変え始めるのは難しいです。例えば、土木技術職は、鉄道会社で仕事がない時期は自治体で活躍できるとか、でも、本籍は鉄道会社のまま、というようなお互いにとってWin-Winの関係が築けるのではないのでしょうか。

【今井】三日月知事から同様に労働組合の役割についてお聞きするとともに、拡大を進めていきたいと決意しています。

【今井】これにて対談を終えます。ありがとうございました。



【今井】JR各社は、あの苦しく厳しい国鉄改革を経験し、「民間だ、民間じゃなきゃダメだ」的なところがあって、頑張り過ぎちゃつてる面もあるように



経歴に基づき公共交通の未来を語る三日月大造 滋賀県知事

【三日月知事】私は、鉄道会社にいらなかつたら労働組合の役員をやらなかつたと思います。

【三日月知事】私は、鉄道会社にいらなかつたら労働組合の役員をやらなかつたと思います。

【三日月知事】私は、鉄道会社にいらなかつたら労働組合の役員をやらなかつたと思います。

【今井】これにて対談を終えます。ありがとうございました。



ヤマちゃん

なかのばやみ(No.309)



集約した22万筆を超える署名とともに伊藤財務副大臣に要望書を手交



赤羽国交大臣とは、要望事項に加え、多岐にわたる意見交換を行った

財務省・国交省へ要請行動 22万筆超の署名に想いを託し 2021年度税制改正大綱が決定

JR連合は、組合員・家族の精力的な取り組みで22万4245筆を集約した「JR産業に関わる緊急政策課題の解決を求める署名」を、11月25日に開催した決起集会でさらなる想いを込め、行政に届ける要請行動を展開した。

11月30日には、国会議員懇談会所属の榊葉賀津也会長(参・静岡)、岸本周平幹事(衆・和歌山1区)、広田一幹事(衆・高知2区)とともに、財務省の伊藤渉副大臣を訪問した。署名に基づく①JR産業の雇用をまもるための雇用調整助成金の延長、②公租公課の負担軽減措置の延長・拡充、③JR北海道、JR四国およびJR貨物の経営自立に向けた支援実施の3点の要

望事項に加え、荻山会長からは「冬のボーナス交渉も厳しい展開が繰り返され、働く者が生活や雇用を守るために取り組んだ署名活動がこれだけ大きなものとなった」と窮状を語った。その後、大谷清副会長(JR四国労組執行委員長)からは若手・中堅の離職に歯止めがかかっていないことが示された上で、「将来展望が持てるような支援の取り組みとともに四国新幹線の実現が必要」と述べ、鎌田茂副会長(JR東海ユニオン中央執行委員長)からは「日本の幹線鉄道網を守るためにも支援が欠かせない」と理解を求めた。

伊藤副大臣は「私自身もJR出身であり、鉄道一家という言葉を胸に議員生活に励んできた。菅総理は2050年のカーボンニュートラルを表明しており、環境にやさしい鉄道は重要になると考える。今は苦しい時期だが、いつか反転攻勢となるよう取り組みたい」と応えた。

また、12月4日には国土交通省の赤羽一嘉国土交通大臣を、国会議員懇談会所属の榊葉賀津也会長、泉健太副会長(衆・京都3区)、広田幹事とともに訪問した。ここでも、署名に基づく3点の要望事項に触れた上で荻山会長より「バリアフリーをはじめ、さまざまな社会的な要請が強まっており、ポストコロナも見据えれば、事業者の自助努力のみで対処していくことは難しいと考える。一方では、改正交通政策基本法にもあるように高速交通網の形成は欠かせない。まずはJR二島・貨物の課題解決を通じて、将来展望を示していくことができるのではないかと」とJR産業の将来像に向けた取り組みを求めた。赤羽大臣はコロナ禍においても公共交通を支えるJ

第30回臨時大会・第33回中央委員会の開催について

- 1 日 時 2021年2月2日(火) 13時から17時まで
 - 2 場 所 「JR九州ステーションホテル小倉」
 - 3 議 題 ①規約・諸規則の一部改正
②経過報告
③当面する活動方針
④2021春季生活闘争方針
⑤その他
 - 4 出席範囲 ①JR連合役員(特別執行委員、会計監査員含む)
②代議員(中央委員含む)37名
JR北労組1名、JREユニオン1名、JR東海ユニオン19名、JR西労組26名、JR四国労組4名、JR九州労組7名、貨物鉄産労1名
③特別代議員(特別中央委員含む)13名
JR東海連合5名、JR西日本連合5名、JR四国連合1名、JR九州連合1名、JR貨物連合1名
- ※新型コロナウイルス感染症の拡大に鑑み、傍聴者の出席を要請しません。
なお、Zoomによるライブ配信を予定しています。

こくみん共済 NEWS

「たすけあいの輪をむすぶ」
こくみん共済 coop は、
次のステージへ

公式キャラクター
ピットくん

たすけあいの輪をむすぶ

こくみん共済〈全労済〉

全国労働者共済生活協同組合連合会

「こくみん共済 coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。

R関係労働者への感謝を述べた上で「資金繰り支援については、要望頂いている納税猶予などしっかりと取り組んでいる。JR二島・貨物については地域毎の課題もあり、私も現地で実際に乗車しながら、支援にむけても検討を進めている。新幹線ネットワークは地方創生や防災・減災対策としても重要だ」と述べた。

JR九州 ハウステンボスホテル 労働組合

新年あけましておめでとうございます。昨年コロナに苦しめられ、よもやよもやの1年となりましたが、今年はコロナ禍からの脱却・反転攻勢に向けて、決して挫けず情熱を燃やしていきましょう。

JR連合
ふれあいキャンペーン
グループ労組めぐり
～全国の仲間を
応援しよう～

ば、私たちの心のこもったおもてなしとハウステンボスの景色や波静かな大村湾の風景をお楽しみいただけるほか、自慢の「琴の湯」では、鉄分・マンガンの泉質を豊富に含んだ黄金色の天然温泉が皆さんの旅や日頃の疲れを癒し、満足度が格段に向上すること間違いなしです。感染対策も徹底しており、安心してご来場いただくと自負しております。皆さまのお越しを楽しみにお待ちしております。



交運共済 ニュース

総合共済 生命共済
火災共済 入院共済
3保障制度 総合医療共済
類焼損害保障 個人賠償保障 借家人賠償保障
地震風水害共済 マイカー共済
交通災害共済 自賠償共済

理事長 松岡裕次

ご挨拶を申し上げます。
交運共済はJR職域生協として職場に働く皆さまとそのご家族の福祉向上に向けて取り組んでまいります。

新型コロナウイルス感染症の一日も早い収束と皆様のご健康を多幸をお祈りいたします。

交運共済は職員一丸となり信頼にお応えできよう努めてまいりますので、本年もこれまでと同様のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。